

【指定就労継続支援A型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	アグリ. エカロー・星			代表者氏名	妹尾 全郎		
事業所所在地	総社市総社2-17-22						
連絡先	電話番号	0866-95-2170			FAX番号	0866-95-2170	
職員数	15名	定員	20名	利用者数	23名 (うち身体 3名 知的 11名 精神 9名 その他)		
事業所の設置主体	社会福祉法人 ・ 民間企業 (NPO法人) ・ その他			設立年月日	平成24年9月1日		
改善計画期間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日 (1年間)						

1 現在、指定基準条例第180条第2項（賃金及び工賃）を満たすことができていない理由と具体的改善策（詳細かつ具体的に記載すること）

(未達成理由) 昨年度の改善計画通り、お弁当事業・施設外就労・浄水器レンタルにより大幅な収入・収益増となったが、更なる収益UPを目指し、早朝の調理作業への利用者の参加や新規の施設外就労を計画するも能力や条件面で折り合わなかったが、今後も継続して営業・支援体制を強化していくことで改善が見込める。	(具体的改善策) ①支援力の向上による利用者の就労スキルの向上 ②農福連携や施設外就労での安定的な作業の確保と売上UP ③在庫管理の徹底によるお弁当事業に係る経費の削減や安定（販売価格の見直し）と、賃金向上達成指導員を増員し営業強化（1件あたりの販売個数を増やして効率的に収益UP）
--	--

現在の事業内容	改善計画期間を通じて実施する事業内容
①お弁当事業②施設外就労（駅清掃・企業の清掃作業） ③草取り・清掃作業（農福連携による新規作業）④浄水器レンタル・製造販売・メンテナンス⑤内職作業（商品加工）	①お弁当事業②施設外就労（駅清掃・企業の清掃作業）③草取り・清掃作業（農福連携による安定的な作業確保）④浄水器レンタル・製造販売・メンテナンス⑤内職作業（商品加工）

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性（どのような資格、経験等を持った者が担当するか等）について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び改善計画期間を通じて基準適合を達成する事業収入目標額（1年間の額を記載）

現在の収入額	改善計画期間を通じて達成するべき目標収入額
41,304,690円	43,501,834円
(主な費目) 詳細は（表1）就労支援事業別事業活動明細書の金額	(積算根拠) 経営改善計画書の積算根拠内訳書参照

(注) 目標収入額は、積算根拠に基づいた実現可能性のある数値であること。

4 現在の生産活動に伴う経費及び改善計画期間を通じて基準適合を達成する必要経費の見込額（1年間の経費を記載）

現在の経費	改善計画期間を通じて見込まれる経費
26,262,841円	25,593,000円
(主な費目) 詳細は（表4）就労支援事業明細書の金額	(積算根拠) 経営改善計画書の積算根拠内訳書参照

5 現在の生産活動に係る収益額及び改善計画期間（基準適合の目標期間）後の収益の見込額

現在の「収入－経費」	改善計画期間後の「収入－経費」
15,041,849円	17,908,834円

6 現在の利用者の総賃金額及び改善計画期間（基準適合の目標期間）後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	改善計画期間後の支払い総賃金額
21,711,748円	21,137,760円
(積算根拠) 詳細は（表4）就労支援事業明細書の金額	(積算根拠) 令和6年度予定利用者20名×平均労働時間4.5時間×最低賃金932円×平均利用日数21日×12ヵ月

事業所代表者署名欄 大杉 規代 (押印不要)

※「現在」はいずれも、指定基準条例第180条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のを記載すること。
※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間	具体的な改善策
収入・収益UP	生産活動収支の黒字化	R6.4~R7.3	R5年度からR7年度までの3ヶ年目標として、管理者と賃金工場達成指導員を中心に生産活動収支の黒字化を目指し作業や価格の見直しを行っているが、今年度も現状を維持しつつ継続して作業や価格の見直しに取り組み、目標達成を目指す
営業強化	1件あたりの注文個数の増加	R6.4~R7.3	賃金向上達成指導員を増員し引き続き営業体制を強化・維持し、顧客数を増やすだけでなく1件あたりの販売個数を増やすことにより効率的に事業収益を上げる
人材育成	指導力向上と就労スキルアップ	R6.4~R7.3	内・外部研修を定期的に行い職員の指導力向上を図り、適材適所の人員配置を進め、利用者の就労スキルアップや一般就労を目指す
収益UP	安定した収入の確保	R6.4~R7.3	1日を通して安定した作業の確保（施設外就労や農福連携での契約作業時間の延長等）により、収益UPや利用者の勤務時間の延長により個々のスキルアップを目指す

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

令和6年～7年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益 ①	3,625,162	3,325,152	3,625,152	3,625,152	3,925,152	3,625,152	3,625,152	3,825,152	3,625,152	3,425,152	3,625,152	3,625,152	43,501,834
	就労支援事業活動収益計② (=①)	3,625,162	3,325,152	3,625,152	3,625,152	3,925,152	3,625,152	3,625,152	3,825,152	3,625,152	3,425,152	3,625,152	3,625,152	43,501,834
費用	就労支援事業販売原価③ (=④+⑤+⑥-⑦)	1,250,000	1,050,000	1,250,000	1,250,000	1,450,000	1,250,000	1,250,000	1,350,000	1,250,000	1,150,000	1,250,000	1,250,000	15,000,000
	期首製品(商品)棚卸高④													0
	当期就労支援事業製造原価⑤													0
	当期就労支援事業仕入高⑥	1,250,000	1,050,000	1,250,000	1,250,000	1,450,000	1,250,000	1,250,000	1,350,000	1,250,000	1,150,000	1,250,000	1,250,000	15,000,000
	期末製品(商品)棚卸高⑦													0
	就労支援事業販管費⑧													
	就労支援事業活動費用計⑨ (=③+⑧)	1,250,000	1,050,000	1,250,000	1,250,000	1,450,000	1,250,000	1,250,000	1,350,000	1,250,000	1,150,000	1,250,000	1,250,000	15,000,000
	就労支援事業活動増減差額⑩ (=②-⑨)	2,375,162	2,275,152	2,375,152	2,375,152	2,475,152	2,375,152	2,375,152	2,475,152	2,375,152	2,275,152	2,375,152	2,375,152	28,501,834
	支払い賃金総額⑪	1,937,628	1,937,628	1,937,628	1,937,628	1,937,628	1,635,660	1,635,660	1,635,660	1,635,660	1,635,660	1,635,660	1,635,660	21,137,760

利用者への支払い賃金は費用に含めず、支払い賃金総額⑪へ記載すること。

(前年度実績)

令和5年～6年		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
収益	就労支援事業収益 ①	3,299,848	2,974,108	3,282,962	3,201,464	3,990,862	3,225,303	3,477,531	4,209,609	3,626,173	3,233,807	3,650,537	3,132,486	41,304,690
	就労支援事業活動収益計② (=①)	3,299,848	2,974,108	3,282,962	3,201,464	3,990,862	3,225,303	3,477,531	4,209,609	3,626,173	3,233,807	3,650,537	3,132,486	41,304,690
費用	就労支援事業販売原価③ (=④+⑤+⑥-⑦)	1,237,105	1,118,094	1,067,204	1,169,208	1,178,835	1,162,764	1,410,072	1,386,194	1,344,502	1,229,739	1,297,232	1,145,508	14,746,457
	期首製品(商品)棚卸高④													0
	当期就労支援事業製造原価⑤													0
	当期就労支援事業仕入高⑥	1,237,105	1,118,094	1,067,204	1,169,208	1,178,835	1,162,764	1,410,072	1,386,194	1,344,502	1,229,739	1,297,232	1,145,508	14,746,457
	期末製品(商品)棚卸高⑦													0
	就労支援事業販管費⑧	2,825,580	2,872,345	2,888,946	2,862,291	2,816,111	2,642,487	2,590,783	2,892,494	2,715,103	2,847,251	2,702,316	2,572,425	33,228,132
	就労支援事業活動費用計⑨ (=③+⑧)	4,062,685	3,990,439	3,956,150	4,031,499	3,994,946	3,805,251	4,000,855	4,278,688	4,059,605	4,076,990	3,999,548	3,717,933	47,974,589
	就労支援事業活動増減差額⑩ (=②-⑨)	▲762,837	▲1,016,331	▲673,188	▲830,035	▲4,084	▲579,948	▲523,324	▲69,079	▲433,432	▲843,183	▲349,011	▲585,447	▲6,669,899
	支払い賃金総額⑪	2,023,502	1,807,383	1,957,334	1,816,689	1,761,540	1,736,564	1,658,870	1,807,148	1,810,876	1,892,426	1,813,206	1,626,210	21,711,748

着色セルは自動計算されます。また、金額には3桁ごとにカンマが入り、マイナスの場合は先頭▲が付くよう設定しています。

経営改善計画書の積算根拠内訳書（利用者に係る人件費等を除く。）

【計画期間】 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※「確定値」=契約済み単価、「見込値」=契約単価見直し可能、実績に基づく見込み、「期待値」=希望的数値 を可能限り表示。

事業区別	事業収入・必要経費項目		現在の収入額及び経費	計画期間を通じて達成すべき目標収入額及び見込まれる経費	単価、個数、時間等の設定根拠	
弁当販売	収入	売上高	30,692,380円	①@400×3,900食=1,560,000円 ②@450×1,500食=675,000円 ③@500×3,200食=1,600,000円 ④@550×1000食=550,000円 ⑤@450×2,900食×10ヶ月=13,050,000円 ⑥ @550×2,400食×10ヶ月=13,200,000円 ⑦@ 500×80食×12ヶ月=480,000円 ⑧@ 600×70食×12ヶ月=504,000円 計31,619,000円	販売単価=現状維持(確定値) 販売個数=実績(確定値)+新規顧客増(期待値) ① -④ 4・5月 ⑤-⑥ 6月-3月 ⑦-⑧ 4月-3月	
	必要経費	旅費交通費	8,684円	10,000円		
		消耗品費	3,664,617円	3,500,000円		
		水道光熱費	680,983円	800,000円		
		燃料費	244,389円	250,000円		
		通信運搬費	87,717円	100,000円		
		雑費	2,688,899円	2,600,000円		
		損害保険料	11,000円	11,000円		
					小計 7,271,000円	(見込値)
				小計 7,386,289円		
		材料仕入	14,746,457円	15,000,000円		
		調理員	2,573,395円	2,700,000円		
				合計 24,706,141円	合計 24,971,000円	(見込値)

経営改善計画書の積算根拠内訳書（利用者に係る人件費等を除く。）

【計画期間】 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※「確定値」＝契約済み単価、「見込値」＝契約単価見直し可能、実績に基づく見込み、「期待値」＝希望的数値 を可能限り表示。

事業区別	事業収入・必要経費項目		現在の収入額及び経費	計画期間を通じて達成すべき目標収入額及び見込まれる経費	単価、個数、時間等の設定根拠
施設外 就労	収入	① 駅清掃	6,673,058円	① 3,811,500円（年間）	①（確定値） ②（見込値） ③（見込値） ③（期待値）
		② アステア		② 9,786円 × 244日 = 2,387,784円	
	③ 新興工業	③ 6,790円 × 245日 = 1,663,550円 ③ 1,000円 × 120日 = 120,000円 計 7,982,834円			
	必要 経費	燃料費	278,847円	300,000円	
		消耗品費	92,002円	100,000円	
		雑費	4,671円	10,000円	
			計 375,520円	計 410,000円	（見込値）
草取り・ 清掃作業	収入	売上高	2,118,938円	① 40,000円 × 12ヶ月 = 480,000円 ② 120,000円 × 12ヶ月 = 1,440,000円 計 1,920,000円	①（見込値） ②（期待値）
	必要 経費	燃料費	62,000円	80,000円	
		消耗品費	30,257円	30,000円	
		雑費	10,156円	20,000円	
			計 102,413円	計 130,000円	（見込値）

経営改善計画書の積算根拠内訳書（利用者に係る人件費等を除く。）

【計画期間】 令和6年4月1日～令和7年3月31日

※「確定値」＝契約済み単価、「見込値」＝契約単価見直し可能、実績に基づく見込み、「期待値」＝希望的数値 を可能限り表示。

事業区別	事業収入・必要経費項目		現在の収入額及び経費	計画期間を通じて達成すべき目標収入額及び見込まれる経費	単価、個数、時間等の設定根拠	
内職作業	収入	売上高	225,214円	15,000円×12ヵ月＝180,000円 計180,000円	(期待値)	
	必要経費	雑費	1,672円	2,000円		
			計 1,672円	計 2,000円	(見込値)	
エカロー蛇口の販売・レンタル・メンテナンス作業	収入	売上高	1,595,100円	①130,000円×12ヶ月＝1,560,000円 ②20,000円×12ヶ月＝240,000円 計1,800,000円	①(見込値) ②(期待値)	
	必要経費	雑費	71,315円	80,000円		
			計 71,315円	計 80,000円	(見込値)	